

作並 地区社会福祉協議会

更新日：平成 28 年 2 月 4 日

1. 地域情報

主な町名	作並字、新川ニッカ（全域）				
	（圏域）連合町内会とほぼ同じ（学区）作並小学校				
人口※1	914 人	高齢者数 ※1	360 人	高齢化率※1	39.39%
世帯数※1	485 世帯	未就学児数※1	9 人		
地区の概況	国道 48 号の沿線の西仙台ハイランドの入り口付近から山形県境までの帯状の広範囲のエリア。地区内は大自然に恵まれ、ニッカウキスキー仙台工場や作並温泉郷などの観光施設がある。旧来からの住民が殆どあるが、別荘地の開発がされ、新たな住民の数も少しずつ増えている。仙山線、市営バスが各々1時間に1本運行されている。				
地域資源 （関係団体、施設、連絡会等）	町内会	作並町内会、新川町内会、奥新川町内会（連合町内会未加入）、ハイランド自治会			
	地域活動団体 （町内会除く）	宮城地区防犯協作並支部、宮城消防団作並分団（4分団）、宮城地区交通安全協会作並支部、宮城地区交通指導隊作並分隊、子ども会育成会：3団体、作並学区民体育振興会、宮城地区募金会作並分会、日赤宮城奉仕団作並分団			
	NPO ボランティア団体				
	高齢者関係施設等	老人デイサービスセンター（花水木）、認知症高齢者グループホーム（せせらぎの里）、大倉地域包括支援センター			
	障がい者関係施設等				
	子供関係施設等				
	教育機関	作並小学校、作並小学校新川分校（休校中であり、現在は地域コミュニティの場として利用されている）			
	市民利用施設	奥新川キャンプ場、作並観光交流センター（ラサンタ）、作並生活改善センター、新川生活改善センター、ハイランド自治会集会所			
その他					

※1 平成 27 年 11 月仙台市作成の小学校区地域情報ファイルより。なお、「未就学児数」については平成 27 年 5 月 1 日現在で 5 歳未満の人口を表しています。

2. 地区社協の体制

結成年月日	昭和・平成 12 年 4 月 1 日			
社協会員数	321 名（普通会員数 321 名、特別賛助会員数 0 名）※平成 25 年度実績			
会 長	氏 名	笹原 喜悦	就任年月日	平成 21 年 4 月
	兼務の状況	作並町内会長、宮城地区募金会会長、日赤宮城奉仕団分団長		
組織体制	（役員体制）会長 1 名、副会長 2 名、推進員・会計 1 名（兼務）、監事 2 名、理事 12 名 （内 1 名庶務兼務） （活動者） 8 名 （活動者呼称）福祉委員			
主な活動拠点	有→	（名 称）		
	無→	（主な活動場所）作並・新川生活改善センター、興源寺会館		

地区社協活動シート

作並 地区社会福祉協議会

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	地区社協役員と福祉委員が直結、稟議方式で事業を進めている。		
会議・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク推進会議（年7回） ・福祉委員研修会（年2回）…絵手紙研修会等 ・全体会議（年2回） 		
活動の概要	安否確認活動 (平成 26 年度実績)	生活支援活動 (平成 26 年度実績)	サロン活動 (更新日時点)
	対象世帯(実数) 31 世帯 (内訳) 一人暮らし高齢者世帯 22 世帯 高齢夫婦世帯 9 世帯 その他的高齢者がいる世帯 _____ 世帯 障がい者のいる世帯 _____ 世帯 子供のいる世帯 _____ 世帯 その他の世帯 _____ 世帯 実施回数(延べ) 930 回 主な支援内容 [訪問 465 回、電話 93 回、見守り 372 回]	対象世帯(実数)※2 31 世帯 (内訳) 一人暮らし高齢者世帯 22 世帯 高齢夫婦世帯 9 世帯 その他的高齢者がいる世帯 _____ 世帯 障がい者のいる世帯 _____ 世帯 子供のいる世帯 _____ 世帯 その他の世帯 _____ 世帯 実施回数(延べ) 248 回 主な支援内容 [除雪、ゴミ出し、掃除、簡単な用足し、]	サロン数 3 カ所 (内訳) 高齢者サロン _____ カ所 子育てサロン _____ カ所 その他のサロン _____ 3 カ所 ※詳細は、別紙「サロン開催状況一覧」参照

※2 下半期（10月～3月）の実績を記載

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	作並地区社協だより	発行頻度	年2回
	発行部数・配布方法等	各430部 全戸配布		
	その他の広報	サロンの案内…各町内会ごとに全戸配布		

5. その他の活動

活動・取組みの概要	町内会での防災訓練の実施。 年3回昼の配食の実施（高齢者対象、安否確認は月1回以上、絵手紙持参等）。
-----------	---

6. 地区社協活動の特徴

作並・新川地区では、少子高齢化が進んでおり、老々介護が増えている。みんなで声掛けをし、高齢者が孤立しないように気配りをしている。三世代交流に力を入れ活動している。
